

私たちの夏祭り

長野県 諏訪小学校

6年 齋藤 柚希

今年の夏、末広商店街の中にある、みんなの居場所「ゆめひろ」で夏祭りをやりました。私の地区は、夏祭りがなくなってしまいました。小学3年生の妹は3年ぶりの夏祭りを楽しみにしていたので、とても悲しがりました。この3年間、小さい子は夏祭りを体験していないことに気づき、私は小さい子たちに夏祭りを体験させてあげたいと思いました。

そこで、上諏訪小学校と城南小学校の友達をさそって、「夏祭り実行委員会」を立ち上げました。私たちだけでは夏祭りをすることができないため、わたあめ機を無料で貸してくれる人、紅白幕を貸してくれる人、準備を手伝ってくれる大人のみなさんに助けられました。

ポスターやチラシを城南小、上諏訪小の各教室に、校長先生の許可をえて、はりました。城南小では、校内放送もしました。

射的、わなげ、水ヨーヨー、チョコバナナやわたあめ、フランクフルト、焼きそば、ラムネ、みぞれアイスの9つのコーナーで使える、前売り券を作りました。前売り券は、あっという間に売り切れました。使い切ると半券（前売り券の上の部分）が残ります。私は、半券を割引券に使えないかと考えました。

夏祭りに来た人が、割引券を持って近くの商店街にあるお店に行けば、街も少しはにぎわうと思いました。実行委員メンバーと街のお店へ行き、自分たちで作った夏祭りのポスターを、はってもらおう願いをしながら、割引もしてもらえるかききました。

断られないか心配でしたが、快く引き受けてくれて、ホッとしました。17店ものお店が協力してくれました。割引をしてくれるお店のマップを、みんなで作りました。前売り券を買いに来た人は、割引券マップをみて「すごいですね。」とおどろいていました。

夏祭り当日はとても暑い日でしたが、3年ぶりの夏祭りに大人も子どもも笑顔でいっぱいでした。当日、飛び入りでスタッフのお手伝いをしてくれた人もいました。私はフランクフルトをやりながら、受付などの手伝いをしました。

前売り券を買えなかった人たちは、当日券を買ってくれました。夏祭りに来た小さな子は、わたあめなどを受け取る時、とてもうれしそうな顔をしていました。妹と同学年の子は、

「初めて友達同士でお祭りで遊べた。ありがとう」と言っていました。

私は、「お祭りを企画してよかった」ととてもうれしい気持ちになりました。みんなの小さな親切のおかげで、夏祭りは大成功に終わりました。

私は、小さな親切が集まると大きな力になり、人に喜びを与えることができるようになるのだと思いました。どんな小さな親切でも、そんなことをやっても意味がないのではないかと思わず、ほかの人の役に立つことをしたいです。